

NATIONAL UNIVERSITY ADMISSION CENTERS

国立大学アドミッションセンター
連絡会議ニュース

第9・10合併号 2012年10月

国立大学アドミッションセンター連絡会議

第9回 総会開催

役員改選等主要議題を承認後、緊急シンポに合流

これまで国立大学アドミッションセンター連絡会議の総会は、入学者選抜研究連絡協議会（入研協）大会の日程に合わせて開催してきました。平成23年度入研協第6回大会が5月25日（水）と26日（木）に開催され、これに先立つ24日（火）15時から大学入試センター主催のセミナーが開催されることから、第9回総会を当初は24日の12:30～14:30に予定していました。

その後4月上旬になって、柴田洋三郎先生（大学入試センター試験研究統括官：当時）から「3.11 東日本大震災を踏まえ“震災と入試”をテーマにした緊急シンポジウム（注：次頁）を5月24日13時から開催することに。第9回総会の時間帯と重なってしまうので、ご一緒できませんか」旨のご提案をいただきました。そこで幹事会では、第9回総会は開始時刻を30分早めて12:00からの開催とし、その後、緊急シンポジウムに参加することにしました。なお、第9回総会には、加盟24大学及びオブザーバー（新潟大学）から計56名の参加がありました。

会 次 第

日時：平成23年（2011年）5月24日（火） 12:00～12:15

会場：早稲田大学小野記念講堂

- 議事：1) 役員の改選について
2) 会則の改正について
3) 事務局からの報告（会計報告）
4) その他



国立大学アドミッションセンター連絡会議 第9回 総会議事要録

日時：平成23年(2011年) 5月24日(火) 12:00～12:15 会場：早稲田大学小野記念講堂

議事に先立ち、丸野俊一会長（九州大学理事〈副学長〉・アドミッションセンター長）から挨拶があった。

議事

1. 役員の改選について

丸野会長から、現会長及び現事務局長の任期満了に伴う後任の選出について、幹事一同から、新会長に米本年邦東北大学入試センター長（総長特別補佐）を、新事務局長に寺下榮 静岡大学全学入試センター長を推薦することの説明があり、承認された。なお、任期は、2年後の総会開催日までとし、事務局は事務局長が所属する静岡大学に置くことが承認された。次いで、米本新会長及び寺下新事務局長から挨拶があった。

2. 会則の改正について

丸野会長から、山形大学エンロールメント・マネジメント室が、山形大学エンロールメント・マネジメント部に組織名称が変更になったことに伴い、会則を改正することの説明があり、承認された。

3. 事務局からの報告

林事務局長から、以下の資料に基づき会計報告があった後、繰越額の用途については、今後、幹事を中心に企画等を提案していくこととしたい旨の説明があり、承認された。

平成22年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費会計報告

収入の部		支出の部	
前期繰越 会費（加盟24大学）	1,106,035 円 480,000 円	第8回総会会議室使用料 外 連絡会議ニュース第8号 郵便切手（連絡会議ニュース送付用） 次期繰越	177,322 円 178,920 円 8,690 円 1,221,103 円
計	1,586,035 円	計	1,586,035 円

4. その他

なし

(注) 緊急シンポジウム

特別緊急セッション ～大学入学者選抜の危機対応～

1. 趣旨

突然に発生する自然災害を回避することは不可能に近いが、これまでの経験から事後の対応、処理に関して危機管理の要点を学ぶことは重要である。災害が広域で発生した場合、情報を伝える術も、移動手段もない中で、意思決定しなければならない被災した大学があれば、被災地からの入学予定者が多数いる被災地にはない大学もある中で、被災した大学に対する救済に加え、迅速な対応と適切な情報発信も重要な危機対応である。

本セッションでは、被災された大学での現場体験や、被災を免れた大学での危機対応について報告をいただくことで問題を共有するとともに、その場を自らの大学に置き換えて、迅速かつ確かな状況判断と処理のあり方について意見交換を行うことで問題への認識を深めて行く。

2. 日時：5月24日(火) 13:00～14:40

3. 会場：早稲田大学大隈記念講堂

4. 司会：大学入試センター試験・研究統括官 柴田洋三郎
大学入試センター試験・研究副統括官 荒井克弘

5. 内容 報告

- ① 3.11 東日本大震災—入試の現場では何が起きていたのか—
報告者：倉元直樹（東北大学）
- ② 阪神・淡路大震災と神戸大学の対応
報告者：川嶋太津夫（神戸大学）
- ③ 東日本大震災、千葉大学の入試とその後の対応
報告者：北村彰英（千葉大学）
- ④ 東日本大震災に際しての早稲田大学入学予定者への対応
報告者：高田祥三（早稲田大学）

質疑・応答

国立大学アドミッションセンター連絡会議

第10回 総会開催

～柴田先生の記念講演で10周年を振り返る～

平成24年度入研協第7回大会が5月31日(木)と6月1日(金)に岡山コンベンションセンターで開催されました。これに先立ち5月30日(水)15時から大学入試センター主催のセミナーが岡山で開催されることから、第10回総会を30日(水)13:00から開催。加盟24大学及びオブザーバーから計61名の参加がありました。

今回は第10回という節目の年にあたることから「10周年記念講演」を企画しました。講演は、かつて九州大学理事(副学長)時代に、この会の会長も務められ、本年3月まで大学入試センターでセンター試験・研究統括官(副所長)でいらした柴田洋三郎先生(現在:福岡県立大学長)にお願いしました。

演題は「国立大学AO入試の歩みと今後の課題」で、AO入試が導入された経緯と変遷、大学入試研究の現状、追跡調査結果の検証、高大接続テストの検討状況、国立大学AO入試の将来像等々、入試関係者にとって大変参考になるご講演をしていただきました。なお、講演録につきましては「10周年記念誌」(後述:平成25年5月発行予定)に詳しく掲載の予定です。

会 次 第

日時:平成24年(2012年)5月30日(水) 13:00~14:50

会場:岡山コンベンションセンター 302会議室

- 会長挨拶 米本年邦会長
- 来賓挨拶 平野 誠 氏
(文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学入試室長)
- 10周年記念講演 (柴田洋三郎 福岡県立大学長)
- 議事 1) 事務局からの報告 (会計報告)
2) 10周年記念事業の実施について
3) その他



国立大学アドミッションセンター連絡会議 第10回 総会議事要録

日時：平成24年(2012年) 5月30日(水) 13:00～14:50 会場：岡山コンベンションセンター 302会議室

議事に先立ち、米本年邦会長（東北大学入試センター長 総長特別補佐）、ならびに来賓としてご出席いただいた平野 誠氏（文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学入試室長）から挨拶があった。

引き続き、「10周年記念講演—国立大学AO入試の歩みと今後の課題」という演題で、柴田洋三郎先生（福岡県立大学長）にご講演いただいた。

議事

1. 事務局からの報告（会計報告）

寺下事務局長から、以下の資料に基づき会計報告があり、承認された。

平成23年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費会計報告

収入の部		支出の部	
前期繰越 会費（加盟24大学）	1,221,103円 480,000円	第9回総会会議室使用料 外 資料運搬費 次期繰越	145,000円 2,677円 1,553,426円
計	1,701,103円	計	1,701,103円

2. 10周年記念事業の実施について

寺下事務局長より、第10回という節目にあたることから、幹事会としては「記念誌の発行」と「セミナー（シンポジウム）の開催」の2つを検討していること、この2事業については、「実行委員会」を設けて進めて行くこと、実行委員会のメンバーとして、幹事から2～3校、参加大学から2校、事務局（静岡大学）の計5～6校の構成としたいこと等が提案され、了承された。

また、第9回総会は、役員改選と会計報告程度を議事として散会したので、「連絡会議ニュース」の発行を昨年度は取り止め、今年度第10回総会後に「第9・10合併号」として発行する旨の報告があった。

3. その他

なし

News 3

実行委員会は7大学で構成

第10回総会で、10周年記念事業として「記念誌の発行」と「セミナー（シンポジウム）の開催」の2点について、実行委員会を立ち上げて進めて行くことが了承されました。その後、加盟大学に対し、記念事業に関するご意見をうかがうとともに、実行委員会への参加を要請したところ、6大学から参加表明をいただきました。今後、6大学6人の委員に、事務局（静岡大学）の2人を加えた8人で実行委員会を構成し、記念事業を具体化していきます。

■実行委員会のメンバー

石井 光夫（東北大学入試センター）	杉原 敏彦（広島大学入学センター）
白川 友紀（筑波大学アドミッションセンター）	林 篤裕（九州大学基幹教育院）
船橋 伸一（富山大学アドミッションセンター）	寺下 榮（静岡大学全学入試センター）
田中 克己（岡山大学アドミッションセンター）	村松 毅（静岡大学全学入試センター）

国立大学アドミッションセンター連絡会議会則

平成15年6月4日制定 最終改正 平成23年5月24日

(名 称)

第1条 本会は国立大学アドミッションセンター連絡会議と称する。

(目 的)

第2条 本会は、高等学校・大学間の接続関係の改善及び加盟機関における入学者選抜等の業務改善に関する研究協議を行い、あわせて加盟機関相互の交流促進を図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、必要な事業を行う。

(構成員)

第4条 本会は、国立大学のアドミッションセンター、及び国立大学において高等学校・大学間の接続関係の改善に関する研究及び実践に携わる機関によって構成する。

2 本会の加盟機関は、別表に掲げる機関とする。

3 新たに入会しようとする国立大学の機関は、総会の承認を得るものとする。

(役 員)

第5条 本会に以下の役員を置く。

- 一 会 長 1名
- 二 事務局長 1名
- 三 運営委員 各加盟機関からの代表1名
- 四 幹 事 運営委員の中から会長の委嘱
6名

2 会長及び事務局長は総会において選出する。任期は2年とし、再選を妨げない。

3 役員は加盟機関の代表をもって、これにあてる。

(役員の仕事)

第6条 会長は、総会を招集し、その議長となる。

2 事務局長は、本会の運営に必要な事務全般を行う。

3 運営委員は、本会の運営に携わる。

(事務局)

第7条 本会に、本会の事務を処理するための事務局を置く。

2 事務局は、事務局長の所属する機関に置く。

(雑 則)

第8条 この会則に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は本会が別に定める。

附 則

この会則は、平成15年6月4日から施行する。

附 則

この会則は、平成17年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成18年5月31日から施行する。

附 則

この会則は、平成19年5月29日から施行する。

附 則

この会則は、平成20年5月25日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月19日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年6月7日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年5月24日から施行する。

別表（第4条第2項関係）

北海道大学アドミッションセンター
旭川医科大学入学センター
岩手大学大学教育総合センター
東北大学入試センター
山形大学エンロールメント・マネジメント部
茨城大学入学センター
筑波大学アドミッションセンター
横浜国立大学大学教育総合センター
福井大学アドミッションセンター
富山大学アドミッションセンター
静岡大学全学入試センター
京都工芸繊維大学アドミッションセンター
鳥取大学入学センター
岡山大学アドミッションセンター
広島大学入学センター
山口大学アドミッションセンター
香川大学アドミッションセンター
愛媛大学アドミッションセンター
高知大学総合教育センター
九州大学アドミッションセンター
佐賀大学アドミッションセンター
長崎大学アドミッションセンター
鹿屋体育大学アドミッションセンター
琉球大学アドミッション・オフィス

国立大学アドミッションセンター連絡会議役員 2012年度

会 長：米本年邦 東北大学入試センター長（総長特別補佐） 運営委員：下表
事務局長：寺下 榮 静岡大学全学入試センター長 幹 事：大学名の前に○を付した

	大 学 名	氏 名	役 職 名
○	北海道大学	佐々木 一彰	高等教育推進機構高等教育研究部入学者選抜研究部門長
	旭川医科大学	坂本 尚志	入学センター副センター長
	岩手大学	高畑 義人	大学教育総合センター長
○	東北大学	石井 光夫	高等教育開発推進センター教授
	山形大学	福島 真司	エンロールメント・マネジメント部教授
	茨城大学	泉岡 明	入学センター長
○	筑波大学	島田 康行	アドミッションセンター長
	横浜国立大学	下城 一	大学教育総合センター入学者選抜部部門長
	福井大学	大久保 貢	アドミッションセンター教授
	富山大学	船橋 伸一	アドミッションセンター特命教授
○	静岡大学	寺下 榮	全学入試センター長
	京都工芸繊維大学	内村 浩	アドミッションセンター教授
	鳥取大学	森川 修	入学センター准教授
○	岡山大学	佐竹 恭介	アドミッションセンター副センター長
	広島大学	杉原 敏彦	入学センター長
	山口大学	兵藤 隆	アドミッションセンター長
	香川大学	真鍋 芳樹	アドミッションセンター副センター長
	愛媛大学	井上 敏憲	アドミッションセンター副センター長
	高知大学	永野 拓矢	総合教育センター入試部門長
○	九州大学	林 篤裕	基幹教育院教授
	佐賀大学	西郡 大	アドミッションセンター准教授
	長崎大学	山口 恭弘	アドミッションセンター長
	鹿屋体育大学	森 司朗	アドミッションセンター長
	琉球大学	中村 肖三	アドミッション・オフィス室長

編集後記

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース「9・10合併号」をお届けします。

未曾有の大震災から1年半が経過しましたが、復旧には未だ多くの日数と困難を抱えています。一日も早い復興を祈念しております。昨年、早稲田大学を会場に開催された第9回総会は、当初の予定を変更し、早めに切り上げて、大学入試センター主催の「特別緊急セッション～大学入学者選抜の危機対応～」に参加しました。報告中心の短時間の総会でしたので、ニュース第9号は発行しませんでした。

本年は岡山大学を世話大学に、岡山コンベンションセンターで第10回総会を開催しました。節目の年にあたることから、現在は福岡県立大学長の柴田洋三郎先生に記念講演をお願いしました。

平成12年(2000年)に、東北大学、筑波大学、九州大学の3つの国立大学でAO入試がスタートしました。その後、多くの国立大学でAO入試が導入され、多くの調査研究も行われていますが、課題もたくさん残されています。柴田先生には「国立大学AO入試の歩みと今後の課題」という演題で示唆に富むお話しをしていただきました。講演録につきましては、次期総会を目途に「10周年記念誌」に収録の方向で準備を進めています。

なお、次年度の入学者選抜研究連絡協議会(入研協)は、首都大学東京を世話大学に、平成25年6月5日(水)から7日(金)まで国立代々木オリンピック記念青少年総合センターで開催の予定です。例年どおりであれば、本連絡会議の第11回総会も入研協の日程を考慮して開催することになりますが、総会に加え、「10周年記念事業」をどのように展開していくか、今後、幹事会ならびに実行委員会の中で検討を進めてまいります。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

事務局 寺下 榮(静岡大学)

国立大学アドミッションセンター 連絡会議ニュース 第9・10合併号

発行：国立大学アドミッションセンター連絡会議

編集：静岡大学全学入試センター（連絡会議事務局）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学

ac-office@adb.shizuoka.ac.jp